



今村 駿介
ジュニア世界選 ポイントレース
金メダル!

ジュニア世界選ポイントレースで金メダルを獲得した今村 (左の写真は Japan Track Cup スクラッチ優勝の今村)

	2015 UCI パラサイクリングロード世界選手権……………2
	第71回全日本大学対抗選手権自転車競技大会……………3
	2015 UCI ジュニアトラック世界選手権大会……………6
	UCI BMX 世界選手権大会……………9
	2015年JOCジュニアオリンピックカップ……………10
	JAPAN TRACK CUP I & II……………12
	平成27年度 全国高等学校総合体育大会自転車競技…14
	各大会 日本代表選手団……………16
	日本新記録/連盟の動き……………17
	競技大会結果……………18
	事務局住所等変更……………19
	第32回全日本BMX選手権大会……………20
	2015 アジア・マウンテンバイク選手権大会……………21
	第28回全日本マウンテンバイク選手権大会……………22
	第32回全日本BMX photo……………24

KEIRIN 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING!
プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGRING! 

2015 UCI パラサイクリングロード世界選手権

男子エリート C3 ロードレースで藤田が金メダル!!



今回の大会は、陸上競技場をスタートゴールにした面白い開催であった。日本でもこのような大会が行われると、一般の方にも見てもらいやすくなると感じた。

大会二日目に行われたロードタイムトライアルでは、藤田征樹(C3)が安定した走りでの5位、2位~5位までが僅差でのレースだった。

タンデム女子鹿沼由理恵・和地恵美ペアは、ペアを組んで間もない中、10位に入った。T2の小川睦彦は10位の結果であった。

大会四日目、ロードレースC3に藤田が出場。各国の選手が何度かアタックする中、残り2周で藤田の絶妙なタイミングでの逃げが成功し、2位以下に1分以上の大差で金メダル、世界チャンピオンとなった。

タンデム女子鹿沼由理恵・和地恵美は、昨日の10位から8位へと順位を上げた。

T2の小川睦彦は、機材不良のためゴールできなかった。(権丈泰巳)

ロードレース金メダルの藤田

【競技結果】

2015 UCI パラサイクリングロード世界選手権
(2015/7/28-8/2 スイス・ノットウィル)

<Time Trial>

Men Elite C3 (31km)

- | | | | |
|---|-----------------|-----|-------|
| 1 | Eoghan CLIFFORD | IRL | 48:53 |
| 2 | Steffen WARIAS | GER | 49:41 |
| 3 | Sergey USTINOV | RUS | 50:44 |
| 5 | 藤田 征樹 | JPN | 50:47 |

Men Elite T2 (14km)

- | | | | |
|----|------------------|-----|-------|
| 1 | Hans-Peter DURST | GER | 25:00 |
| 2 | Giorgio FARRONI | ITA | 26:20 |
| 3 | Ryan BOYLE | USA | 26:23 |
| 10 | 小川 睦彦 | JPN | 29:14 |

Women Elite Tandem B (31km)

- | | | | |
|----|---------------|-----|-------|
| 1 | POLAND | POL | 52:05 |
| 2 | NEW ZEALAND | NZL | 52:05 |
| 3 | NETHERLANDS | NED | 53:03 |
| 10 | 日本 鹿沼由理恵・和地恵美 | | 56:51 |

<Road Race>

Men Elite C3 (56km)

- | | | | |
|---|------------------------|-----|---------|
| 1 | 藤田 征樹 | JPN | 1:27:34 |
| 2 | Alexsey OBYDENNOV | RUS | 1:28:58 |
| 3 | Eduardo SANTAS ASENSIO | ESP | 1:28:58 |



Men Elite T2 (28km)

- | | | | |
|---|--------------------|-----|-------|
| 1 | Hans-Peter DURST | GER | 52:28 |
| 2 | Nestor AYALA AYALA | COL | 52:28 |
| 3 | Ryan BOYLE | USA | 53:28 |
| | 小川 睦彦 | JPN | DSQ |

Women Elite Tandem B (77.5km)

- | | | | |
|---|---------------|--|---------|
| 1 | POLAND | | 2:19:11 |
| 2 | NEW ZEALAND | | 2:19:22 |
| 3 | NETHERLANDS | | 2:25:04 |
| 8 | 日本 鹿沼由理恵・和地恵美 | | 2:29:19 |

2015 UCI パラサイクリングロード世界選手権 日本代表選手団

大会名 2015 UCI パラサイクリング
ロード世界選手権
開催場所 スイス・ノットウィル
大会期間 2015年7月29日~8月2日
派遣期間 2015年7月26日~8月4日
代表選手団

- チーフリーダー 権丈 泰巳
- ヘッドコーチ 柿木 克之
- マネージャー 平松 竜司
- メカニック 鬼原 積
- マッサー 菊地 孝明
- トレーナー 村林ひろみ
- 選手 藤田 征樹(茨城)
- 小川 睦彦(東京)
- 鹿沼由理恵(東京)
- 和地 恵美(P/神奈川)



男子タンデムスプリント優勝の鹿屋体育大学(手前)と2位日本大学



男子チームスプリント優勝の鹿屋体育大学



男子4km チームパーシュエー 優勝の法政大学



男子スプリント優勝の小原(右)と2位の野上



男子ポイントレース優勝の小林(左)と3位の橋本

男子 1km タイムトライアル優勝の野上



71 回目の開催となる全日本大学対抗選手権自転車競技大会（インカレ）は、8月27日（木）から30日（日）までの4日間、トラック競技が松本市美鈴湖自転車競技場、ロード競技が長野県大町市美麻公道周回特設コースで開催された。

トラック競技の会場となった松本市美鈴湖自転車競技場は、同市内のかりがね自転車競技場の閉場に伴い、スピードスケート競技の国際公認リンクであった「浅間温泉国際スケートセンター」の跡地に造成された333mトラックで、今年6月に開場となったばかりである。トラックこそ新設であるが、スケートリンク時代の管理棟や国旗掲揚台などはリフォームして再利用され、管理棟内にはリンクで生まれた記録を表示したボードが、そのまま残されている。そのボードには橋本聖子日本自転車競技連盟会長や、長野オリンピックの金メダリストの清水宏保氏など、スピードスケート界を代表する名選

女子 500m タイムトライアル優勝の清水



手の名前が刻まれており、それらが往時の姿を偲ばせる自転車競技場となっている。

この競技場での初開催となったインカレトラック競技では、男子は8種目中4種目を制した鹿屋体育大学がトラック部門1位、女子も5種目中3種目を制した鹿屋体育大学が1位となった。

学連ではおなじみとなった大町市美麻でのロード競技は、インカレとしては3回目の開催である。男子は日本大学の吉田悠斗が優勝し、日本大学勢としては2005年以来10年振りのロード制覇となった。女子は昨年インカレロード2位の樫木祥子が6月の個人ロードに続いて優勝。駒

澤大学が初のインカレ制覇を果たした。総合大学対抗得点では男子が鹿屋体育大学の3連覇、女子も鹿屋体育大学が優勝して2年振りにタイトルを奪還した。

今大会のトラック競技では、多くの大会記録や学連記録が生まれた。女子500mタイムトライアルとスプリントの2冠に輝いた八戸学院大学の清水知美は、前述した記録ボードにその名を刻むトップスケーターでもあった。今回スケートシューズからレーサーシューズに履き替えてこの地に戻ってきたことになるが、その清水の談話によれば、スケートリンク時代から軽くてタイムの出るリンクであったとのことである。今大会の記録連発も、およそ標高1,000mと国内では屈指の高地にあるために、空気抵抗が少ないことが多分に影響しているものと思われる。かつては世界三大高速リンクとも呼ばれていた場所に新たに誕生したトラックで、これからも好記録が量産されることを期待して止まない。

（村田隆宣）



スケートリンク時代の管理棟



女子ロードレースのスタート



男子ロードレースのパレード走行



女子ロードレースで一人逃げる櫻木



男子ロードレース最終週のトップ3人
(左から優勝の吉田悠人、2位の橋本英也、3位の吉田優樹)



男子ロードレース優勝の吉田悠人

男子4km個人ハーフシュート

- 1 原田 裕成 岡山 鹿屋体育大 4:37.34
- 2 池邊 聖 神奈川 慶応義塾大 4:41.85
- 3 高士 拓也 三重 中央大学 4:43.54

男子ポイントレース(40km)

- 1 小林 泰正 群馬 日本体育大学 36p
- 2 原井 博斗 福岡 中央大学 30p
- 3 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大学 22p

男子タイムトライアル

- 1 鹿屋体育大学 山口・安本
- 2 日本大学 緑川・照井
- 3 中央大学 濱田・村田

男子チームタイムトライアル

- 1 鹿屋体育大 山口・野上・堀 1:02.24
- 2 中央大学 高士・佐伯・橋本 1:02.41
- 3 朝日大学 松本・上遠野・小原 1:02.34

男子4kmチームハーフシュート

- 1 法政 寺崎・新村・青野・鈴木 4:13.021
- 2 鹿屋 橋本英・橋本直・原田・阿部 4:16.206
- 3 中央 高士・原井・直井・高橋 4:17.591

女子500mタイムトライアル

- 1 清水 知美 青森 八戸学院大 37.974
- 2 齋藤 望 宮城 日本体育大 38.402
- 3 西島 叶子 熊本 鹿屋体育大 38.831

女子スプリント

- 1 清水 知美 青森 八戸学院大学
- 2 齋藤 望 宮城 日本体育大学
- 3 西島 叶子 熊本 鹿屋体育大学

女子3km個人ハーフシュート

- 1 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大 3:58.20
- 2 中井 彩子 宮崎 鹿屋体育大 4:02.21
- 3 伊藤 真生 宮城 日本体育大 4:09.31

女子ポイントレース(20km)

- 1 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大学 27p
- 2 齋藤 望 宮城 日本体育大学 24p
- 3 中井 彩子 宮崎 鹿屋体育大学 21p

女子チームタイムトライアル

- 1 鹿屋体育大学 高田・西島 50.363
- 2 日本体育大学 齋藤・伊藤 51.001
- 3 八戸学院大学 丹波・清水 50.446

男子ロードレース(176.4km)

- 1 吉田 悠人 栃木 日本大学 4:47.08
- 2 橋本 英也 岐阜 鹿屋体育大 4:47.15
- 3 吉田 優樹 福島 日本大学 4:47.20
- 4 中井 路雅 滋賀 京都産業大 4:48.24
- 5 小玉 凌 愛知 中央大学 4:48.33
- 6 島袋 大地 沖縄 法政大学 4:48.46

女子ロードレース(63.0km)

- 1 櫻木 祥子 東京 駒澤大学 1:56.45
- 2 谷 伊央里 群馬 日本体育大 1:58.15
- 3 中井 彩子 宮崎 鹿屋体育大 2:00.08
- 4 齋藤 望 宮城 日本体育大 2:00.45
- 5 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大 2:04.35
- 6 伊藤 真生 宮城 日本体育大 2:05.03

メダリスト

- メダリスト**
- | | |
|----------|-----|
| 1 鹿屋体育大学 | 78p |
| 2 日本大学 | 52p |
| 3 朝日大学 | 51p |

メダリスト

- | | |
|----------|-----|
| 1 鹿屋体育大学 | 53p |
| 2 日本体育大学 | 41p |
| 3 八戸学院大学 | 21p |

【競技結果】

文部科学大臣杯
第71回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
(2015/8/27-30 長野・松本/大町 美麻)

男子スプリント

- 1 小原 佑太 青森 朝日大学
- 2 野上 竜太 岡山 鹿屋体育大学
- 3 曾我 圭佑 熊本 明治大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 野上 竜太 岡山 鹿屋体育大 1:03.579
- 2 相馬 義宗 岐阜 朝日大学 1:03.726
- 3 寺崎 浩平 福井 法政大学 1:03.940

男子ケリ

- 1 松本 貴治 愛媛 朝日大学
- 2 佐藤 啓斗 青森 早稲田大学
- 3 藤根 俊貴 岩手 順天堂大学

2015 UCI ジュニア・トラック世界選手権大会

男子ポイント今村(金) 女子ポイント梶原(銀) 女子TP(銅)



2015/8/19 (大会第1日)

◎女子ジュニアチームパーシュート

アジア選手権金メダルの鈴木・梶原・古山・橋本のメンバーで臨んだ。ラスト1kmで古山が離れたが予選4位で通過し、1回戦へ進出した。

◎男子ジュニアチームパーシュート

沢田・今村・安川・徳田のメンバーで出走した。2km過ぎに安川が離れ、沢田が先頭交代のミスで足を使い切れかかるが粘り、4分18秒259の8位通過で1回戦へ進出した。

◎女子ジュニアポイントレース

昨年のジュニア世界選銀メダルの梶原が出場。1・2回目のポイントでポーランドの選手が10点獲得、梶原はこのスプリントに参加せず、冷静に次回以降を狙った。3・4回目のポイントは積極的に梶原が動きを見せ、10点獲得。



女子ポイントレース 2位の梶原

5回目以降ポーランドの選手が動きを見せ、点数を重ねる。梶原も動きを見せるが、ポーランドにマークされて点数を重ねられない。ラストの8回目で1着ゴールするが、7回目のポイントでポーランドの選手の優勝が決まり、昨年同様銀メダルに終わった。

◎女子チームスプリント

大久保・鈴木・の走順で臨んだ。大久保のスタートに乗れず鈴木が離れるが、後半追いついて36秒160のジュニア記録を更新したが、予選1位通過のドイツは33秒台と、力の差を感じる8位となった。

◎男子チームスプリント

梶原・山根・沢田の走順で臨んだ。梶原のスピードが伸びず、山根がピッチを上げるが、沢田が離れかけてスピードが上がらず、11位となった。

□選手の様子(行動・心境)

沢田がキャプテンとしてチームのムードをリードした。選手間のコミュニケーションも前向きな発言や態度が目立ち、好成績を生みそうな気配を感じた。

2015/8/20 (大会第2日)

◎男子ジュニアスクラッチ

予選7.5kmで行われ山下が出場。序盤アメリカとチリの2人がアタックし、後続集団から山下を含める5人が追いかける。残り16周で7人になり、残り10周で後続集団をラップし、山下

は5着でゴールして予選通過をした。決勝は10kmで行われた。序盤早いペースでレースが始まり、山下は後方待機。5kmを過ぎて山下は積極的に何度もアタックしたが、後続集団のペースは下がらず、すぐ吸収される。早い展開でのレースになり、山下は力尽き10位でゴール。

◎男子ジュニアケイリン

梶原・山根の2名が出場。予選2組に出場した山根は、6人中6番手の位置で待機。残り2周先頭に出て仕掛けるが、スピードに乗れず捲られて5位。予選5組に出場した梶原は1番手を取り、残り2周オランダが仕掛ける。梶原が合わせるがスピードに乗り切れず捲られて4位。2名とも敗者復活戦に賭けることになった。ケイリン敗者復活戦3組の山根は、2番手についたがレースの主導権をとれず、残り1周で4番手になり、ゴール前で抜かれて5位。4組の梶原は、5番手の位置からスピードが伸びずそのまま5位。2回戦には上げられず、この種目を終えた。

◎女子ジュニア500mタイムトライアル

大久保が出場。得意のスタートでトップスピードに乗せるが、スピードが伸びないままフィニッシュ。トップと2秒差もあり、世界との力の差を痛感した。

◎女子ジュニアチームパーシュート

1回戦1位通過のニュージーランドと対戦。隊列の乱れもなく4人でゴール。対戦では敗退したが予選より5秒アップの4分42秒の日本ジュニア新記録を出し、3～4位決定戦に進出。

銅メダルを賭けた順位決定戦、対戦相手は予選3位のロシアチーム。序盤



女子ジュニアチームパーシュート

女子ジュニアチームパーシュート3位の表彰式



から日本チームは1回戦より早いペースで走るが、ロシアチームが2秒のリードを保つ。終盤ロシアチームが3人となり、ペースが落ちる。逆に日本は4名でタイム差を縮めてデットヒートになる。最終周古山と橋本が離れるが粘り、ほぼ同時にゴール。ロシアチームと0.20秒の差で4分39秒374の日本ジュニア新記録を出し、銅メダルを獲得した。

◎男子ジュニアチームパーシュート

予選と同じ沢田・今村・安川・徳田のメンバーで出走した。残り6周、安川が離れ今村が先頭になったとき、後ろの2名が離れるが、今村が間に入りペースを作り、予選より2秒早い4分16秒でゴール。7～8位決定戦では、日本ジュニア新記録を出すためにギアを上げて臨んだ。序盤からハイペースで周回を重ね、残り4周で安川が離れ3名になるが、失速することなくフィニッシュ。4分11秒と待望の日本ジュニア記録を更新した。

2015/8/21 (大会第3日目)

◎女子ジュニアスプリント

予選200FTT、12秒330の22位で1/16決勝に進出した大久保は、オーストラリアの選手と対戦。併走状態から仕掛けるが合わせられ、思うように力が発揮できないまま敗退した。

◎男子ジュニアオムニウム(1日目)

2日間で6種目行うオムニウムに沢田が出場した。スクラッチは10kmで行われ、序盤からペースが速く沢田は後方待機。残り20周で3名がラップし、沢田も積極的に動くが、集団に飲み込まれる。残り2周で沢田を含める5名の逃げが決まり、沢田が冷静に合わせ1着でゴール。ラップ選手3名に続く4位で通過した。

次に得意とする3kmIPでは、ハイペースでラップを刻んで最後まで粘り、

コンマ差であったが日本ジュニア記録を更新した。

エリミネーションでは内側に入り続け、外側に出れず15位に終わった。総合順位は4位となり、1日目が終わった。

◎男子ジュニアポイントレース

今村が出場した。予選10kmでは、スタートから今村が仕掛け、ラップにはならなかったが、1・2回目にポイント1着を取り10点を獲得した。中盤今村は後方待機で冷静に展開を見る。4回目のポイントを今村が2着でゴール、合計13点となる。残り3周で2名の選手がラップし、予選は3位で決勝に通過した。

25km(100周)で行われた決勝は、残り86周でメキシコとカナダ、今村の3名が逃げ、残り78周でメキシコとカナダの2名を置いて、今村1人がラップ。メキシコとカナダの2名は集団に飲み込まれる。中盤今村は後方待機で展開を見ており、4回目のポイントでは、後ろから駆け下ろし、集団が反応できず1着5点を獲得し、力強い走りで2位との点差を広げる。残り10周で、アルメニアの選手がラップするが、今村との差は縮まらず、積極的に動いた今村がゴールスプリントも4着でゴール。金メダルを獲得した。

◎女子ジュニア個人パーシュート

鈴木と橋本が出場した。2組目スタートの橋本は、前半いいペースでラップを刻むが、後半ペースが落ちて15位に終わったが、自己記録を更新した。

4組目にスタートした鈴木は、スタートでトップスピードに乗せ、安定したラップを刻み、2分27秒054の日本ジュニア新記録を出したが、惜しくも5位に終わった。

◎男子ジュニア1kmタイムトライアル

徳田が出場。スタートタイミングがずれたが自己記録を出し、1分6秒の18位でこの種目を終えた。1位のチェコは1分2秒を出し、力の差が見えた。

2015/8/22 (大会第4日目)

◎男子ジュニアスプリント

梶原と山根が出場。予選200mF梶原11秒330で34位予選敗退。山根は10秒864の22位で1/16決勝に進出した。1/16決勝では、フランス選手と対戦。2者並走の中、押し上げられた感が見られたが、合わせられてゴールに届かず敗戦した。2名の選手は、思うように力を発揮する事ができなかった。

◎女子ジュニアオムニウム(1日目)

梶原が出場。スクラッチは7.5kmで行われ、初日に行われたポイントレースと同じく内側で展開を伺い、残り2周でペースが上がって、集団ゴールになり8位でゴール。

続いて2km個人パーシュートは、前半はスピードに乗れたが、後半失速して2分32秒で12位となった。エリミネーションでは、内側から前方で走行していたが、中盤スピードが上がり、外側にいる選手に捲られ7位でゴール。1日目の総合順位は10位で終わった。

◎男子ジュニアオムニウム(2日目)

2日目は1kmタイムトライアル、フライングラップ、ポイントレースが行われた。1kmタイムトライアルでは、スタートでスピードに乗り、ハイペースでラップを刻むが、残り1周で失速してしまい1分4秒で6位となった。

フライングラップは13秒498と伸びず5位に終わった。

最終のポイントレースは25kmで行われた。現時点で総合4位につけた沢田は、3位と8点差があるが逆転の可能性もある。序盤からペースが速く、動く選手はすぐ集団に飲み込まれる。沢田も積極的にポイントとラップを試みるが、集団に飲み込まれる。残り69周で4名の選手がラップして20点が加算される。沢田も6回目のポイントで1点を取るが、それ以降は点が取れずにいた。最終スプリントは4着で1点を取り合計2点を加え、総合順位では6位となり、この種目を終えた。

◎男子ジュニア3km個人パーシュート

1組目に出場した安川は、1kmの通過タイムが伸びず、後半そのまま失速し3分34秒25位であった。7組目に出場した徳田は、1km通過タイムが安川より1秒遅かったが、後半加速してラップを刻み、自己ベストとなる3分28秒で18位となりこの種目を終えた。

◎女子ジュニアスクラッチ

鈴木が出場した。前半から鈴木が積極的にレースを主導した。残り9周で鈴木がスパートするも、集団がすぐに吸収。残り2周で集団のスピードが上がり、集団のまま9位でゴールした。

2015/8/23 (大会第5日)

◎女子ジュニアケイリン(1回戦)

1組目に出場した大久保は5番手でレースを展開するも、終盤のスプリントでスピードに乗り切れず4位となった。その後の1回戦敗者復活戦では4組に

出場、4名のレースでスタート直後主導権争いに巻き込まれ落車する。再スタートされたレースでは3番手でレースを展開、ゴール前のスパートで先行したオランダの選手に肉薄するも、及ばずに2位で終わった。

◎女子ジュニアオムニウム(2日目)

梶原が2日目のオムニウムに臨んだ。500mタイムトライアルではスピードに乗り切れず38秒354、13位に終わる。200mFTTでも全くスピードに乗れず15秒463、10位となった。

最後の種目ポイントレース、前半は集団後方に位置し、アタックの機会を狙っていた。後半積極的に動いて残り40周のポイントで5点を獲得、更にそのまま集団を引き離し、ラップすることで20点を加算した。残り18周で再び一人で集団を引き離し、残り13周で

ラップして合計45点を加え、総合順位8位でこの種目を終えた。

□総括 大会を終えて

インターハイ直後から、伊豆ベロドロームで合宿を行って大会に臨んだ。木製250m走路で実施される本大会と同じ条件の下、チーム種目を想定してのハイギアでの追い込み練習を中心にトレーニングを行った。インターハイの疲れも相当あり、選手には負担も大きかったが、予想以上の成果を得たと思われる。

本大会では男子金メダル1個、女子銀メダル1個、女子団体種目銅メダル1個を得

る好成績であった。中距離選手の活躍が目立つ中で、日本ジュニア新記録もいくつか生まれ、今後のさらなる向上が期待できる結果を出せた。

短距離選手の成績がふるわず、今後の強化の課題となった。

(ジュニア支援スタッフ 狩野 良太)



【競技結果】

2015 UCI ジュニア・トラック世界選手権大会 (2015/8/19-23 カザフスタン・アスタナ)

男子スプリント

- 1 PARK Je One KOR
- 2 JANOSEK Jiri CZE
- 3 MEISSNER Moritz GER
- 22 山根 将太 鳥取 倉吉西高校1/16F 敗退
- 34 梶原 大地 福岡 祐誠高校 予選敗退

男子1kmタイムトライアル

- 1 JANOSEK Jiri CZE 1:02.200
- 2 VASYUKHNO Alexandr RUS 1:02.678
- 3 SCOTT Cameron AUS 1:03.417
- 18 徳田 匠 京都 北桑田高 1:06.546

男子ケリツ

- 1 RADZIKIEWICZ Derek AUS
- 2 JANOSEK Jiri CZE
- 3 MEISSNER Moritz GER
- 31 山根 将太 鳥取 倉吉西高 1回戦敗退
- 31 梶原 大地 福岡 祐誠高校 1回戦敗退

男子3km個人バースhoot

- 1 APPELT Leo GER 3:15.432
- 2 STANISZEWSKI Daniel POL 3:21.478
- 3 O'BRIEN Kelland AUS 3:19.948
- 18 徳田 匠 京都 北桑田高 3:28.177
- 25 安川 義道 奈良 榛生昇陽 3:34.150

男子スクラッチ(10km)

- 1 STEWART Campbell NZL 11:39.05
- 2 MANO Yuttana THA
- 3 NEKRASOV Denis RUS
- 10 山下 祥平 愛媛 日本体育大学

男子ポイントレース(25km)

- 1 今村 駿介 福岡 祐誠高校 31p
- 2 STEPANYAN Edgar ARM 25p
- 3 THIJSSSEN Gerben BEL 12p

男子ホムニウム

- 1 STEWART Campbell NZL 191p
- 2 WIGHT Rohan AUS 181p
- 3 KANTER Max GER 156p
- 6 沢田桂太郎 宮城 東北高校 140p

男子チームスプリント

- 1 RUSSIA 44.767
- 2 AUSTRALIA 45.724
- 3 POLAND 45.665
- 11 日本 梶原・山根・沢田 47.502

男子チームバースhoot

- 1 AUSTRALIA 4:05.555
- 2 SWITZERLAND 4:11.370
- 3 RUSSIA 4:05.888
- 7 日本 沢田・安川・徳田・今村 4:11.573

女子500mタイムトライアル

- 1 GRABOSCH Pauline Sophie GER 34.657
- 2 HINZE Emma GER 34.729
- 3 PODMORE Olivia NZL 34.980
- 16 大久保花梨 福岡 祐誠高校 36.978

女子スプリント

- 1 HINZE Emma GER
- 2 FIELD Courtney AUS
- 3 BOGOYAVLENSKAYA Kseniya RUS
- 22 大久保花梨 福岡 祐誠高校 1/16F 敗退

女子2km個人バースhoot

- 1 KACZKOWSKA Justyna POL 2:25.684
- 2 BORRAS Marion FRA 2:26.170
- 3 PARK Madeleine NZL 2:27.564
- 5 鈴木 奈央 静岡 競輪学校 2:27.054
- 15 橋本 優弥 岐阜 岐阜商高 2:33.336

女子ケリツ

- 1 HINZE Emma GER
- 2 FIELD Courtney AUS
- 3 KANKOVSKA Sara CZE
- 17 大久保花梨 福岡 祐誠高校 1回戦敗退

女子スクラッチ(7.5km)

- 1 BALSAMO Elisa ITA 10:14.064
- 2 KACZKOWSKA Justyna POL
- 3 MACDONALD Nicola AUS
- 9 鈴木 奈央 静岡 日本競輪学校

女子ポイントレース(20km)

- 1 PIKULIK Daria POL 23p
- 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸高校 19p
- 3 SELINA Kristina RUS 13p

女子ホムニウム

- 1 MCKINNIREY Danielle AUS 189p
- 2 PIKULIK Daria POL 179p
- 3 ALZINI Martina ITA 169p
- 8 梶原 悠未 埼玉 筑波大坂戸高 155p

女子チームスプリント

- 1 GERMANY 33.899
- 2 NEW ZEALAND 34.219
- 3 ITALY 34.815
- 8 日本 大久保・鈴木 36.160

女子チームバースhoot

- 1 NEW ZEALAND 4:31.966
- 2 AUSTRALIA 4:37.493
- 3 日本 鈴木・梶原・橋本・古山 4:39.374

2015 UCI ジュニアトラック世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2015 UCI ジュニアトラック世界選手権大会
開催場所 カザフスタン・アスタナ
大会期間 2015年8月19日～23日
派遣期間 2015年8月15日～26日

代表選手団

- 監督 折本 裕樹 (JCF ジュニア強化育成部会長)
- コーチ 相原 好宏 (JCF ジュニア強化育成部会支援スタッフ)
- 宮本 文晴 (JCF 強化支援スタッフ)
- 狩野 良太 (JCF ジュニア強化育成部会支援スタッフ)
- 小田島梨絵 (JCF 強化コーチ)

メカニック 森 昭雄 (JCF 強化支援スタッフ)

- 選手 梶原 大地 (福岡・祐誠高校)
- 山根 将太 (鳥取・倉吉西高校)
- 沢田桂太郎 (宮城・東北高校)
- 安川 義道 (奈良・榛生昇陽高校)
- 徳田 匠 (京都・北桑田高校)
- 今村 駿介 (福岡・祐誠高校)
- 山下 祥平 (愛媛・日本体育大学)
- 鈴木 奈央 (静岡・日本競輪学校)
- 大久保花梨 (福岡・祐誠高校)
- 梶原 悠未 (埼玉・筑波大坂戸高校)
- 橋本 優弥 (岐阜・岐阜商業高校)
- 古山 稀絵 (東京・昭和第一学園高校)



UCI BMX 世界選手権大会

男子エリートの長迫(中央)



男子エリートの吉村



男子エリートの吉井



男子ジュニアの山口



女子エリートの瀬古

大会最終日を迎えた BMX 世界選手権大会。朝から強い雨と強風が襲い、大会スケジュールは大幅に短縮、通常 3 回の予選は 1 回のみと厳しい戦いとなった。

強い雨が降る中で予選がスタート。荒れたコンディションに強い日本勢は、多くの選手が順当に予選をクリアする。

しかし男子エリートでは 1/8 決勝で長迫吉拓(岡山 / モトクロスインターナショナル)が、第 1 パーム(カーブ)での多重クラッシュに巻き込まれて敗退。男子ジュニアでも期待の山口大地(新潟 / 帝京長岡高等学校)が、スタートから 2 位で第 1 パームを通過したものの、ミスで大きく後退。予選 5 位で敗退となってしまった。

残念ながら今年はチャンピオンシップクラスで決勝に進んだ選手はいなかったが、各レースでは健闘を見せてくれた。

三瓶コーチコメント

結果として決勝に上がりタイトルを取ることではできませんでした。日本チームにとって雨という状況、今回のコースも含めて、チャンスがあったと思うので悔しいです。

来年も今年と同じ常設のコースを使用するので、12 月に行われるレースに参戦したり、個々の課題を埋めたりとやることはたくさんありますが、できる準備はしていきます。

来年の BMX 世界選手権大会は 5 月にコロンビアで開催される。リオオリンピックの前哨戦とも言える大会なので、日本選手の活躍に期待したい。

(千島輝大)

【競技結果】

UCI BMX 世界選手権大会
(2015/7/21-25 ベルギー・ソルダール)

男子エリート

吉井 康平 東京 モトクロスインターナショナル HARO

:1/8 決勝 7 位敗退

吉村樹希敢 大阪 CREDIT Racing

:1/8 決勝 7 位敗退

長迫 吉拓 岡山 モトクロスインターナショナル

:1/8 決勝 8 位敗退

女子エリート

瀬古 遥加 三重 至学館大学

:1/4 決勝 7 位敗退

男子ジュニア

長谷川湧斗 茨城 常磐大学高校

:予選 5 位敗退

山口 大地 新潟 帝京長岡高校

:1/4 決勝 5 位敗退

2015 年 UCI BMX 世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2015 年 UCI BMX 世界選手権大会

開催場所 ベルギー・ソルダール

大会期間 2015 年 7 月 17 日～ 25 日

派遣期間 2015 年 7 月 8 日～ 27 日

代表選手団

マネージャー マーティン・ワード (JCF 強化支援スタッフ)

コーチ 三瓶 将廣 (JCF 強化コーチ)

メカニック 光武 正勝 (JCF 強化支援スタッフ)

フィジカルトレーナー 千島 輝大 (一社 全日本 BMX 連盟)

マッサージ 田中 和幸 (日体協公認アスレチックトレーナー)

アシスタント 榊原 由紀 (JCF 強化支援スタッフ)

須崎 祐次 (一社 全日本 BMX 連盟)

門井 俊 (一社 全日本 BMX 連盟)

広 報 山中 基嘉 (一社 全日本 BMX 連盟)

選手

男子エリート 長迫 吉拓 (岡山)

吉村樹希敢 (大阪)

吉井 康平 (東京)

女子エリート 瀬古 遥加 (三重)

男子ジュニア 山口 大地 (新潟)

長谷川湧斗 (茨城)



8月15・16日、静岡県の伊豆ベロドロームにおいて、2015年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会が昨年を上回る162名のエントリーで開催された。

8月19日から始まるジュニア世界選手権への参加のため、上位選手不在での開催となり、JOCカップの行方が見守られたが、男女それぞれ2種目を制覇した、永田吏玖と岡本二菜が見事受賞した。



女子ジュニアポイント優勝の岡本（先頭）

2015年 JOC ジュニアオリンピックカップ 自転車競技大会

JOC カップは
男子：永田吏玖、女子：岡本二菜
が受賞！



男子ジュニアポイントレース優勝の永田（先頭）



男子ジュニアスクラッチ優勝の渡辺（中央）



男子U17ポイントレース



男子ジュニアケイリン優勝の福永（左）と2位の小原



女子ジュニアスプリント優勝の野島（奥）と2位の吉原



男子U15 3kmIP 優勝の高梨



女子ジュニア 2kmIP 優勝の高橋



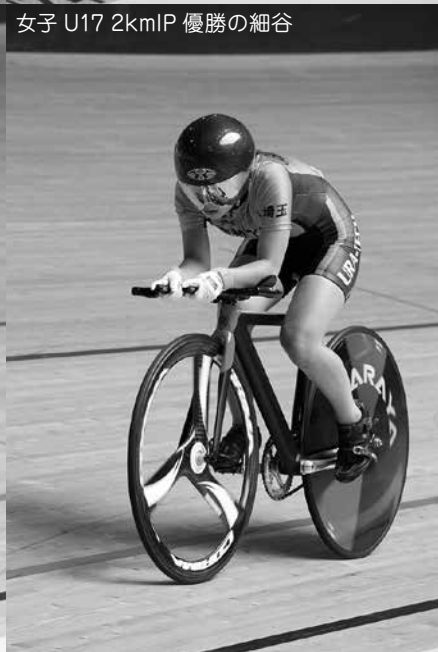
女子U15 2kmIP 優勝の岩元



男子U17 1kmTT 優勝の山田



男子ジュニア 1kmTT 優勝の栗山



女子U17 2kmIP 優勝の細谷

2015年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会
(2015/8/15-16 静岡・伊豆パルクロード)

<JOCカップ受賞者>

男子：永田 吏玖 岐阜
女子：岡本 二葉 東京

<男子ジュニア>

スプリント

- 1 田中 克尚 岡山
- 2 小泉 智也 埼玉
- 3 中島 詩音 山梨

1kmタイムトライアル

- 1 栗山 和樹 岐阜 1:06.631
- 2 伊藤 歩登 兵庫 1:07.358
- 3 小原丈一郎 青森 1:07.668

ケリソ

- 1 福永 大智 大阪
- 2 小原丈一郎 青森
- 3 東矢 圭吾 熊本

3km個人パノシュート

- 1 永田 吏玖 岐阜 3:34.088
- 2 松本 京太 静岡 3:36.711
- 3 田川 翔琉 熊本 -

スクラッチ

- 1 渡辺 慶太 埼玉 12:05
- 2 竹村 拓 京都

- 3 林 欣司 岐阜

ポイントレース

- 1 永田 吏玖 岐阜 39p
- 2 曾我部厚誠 大阪 28p
- 3 石井 駿平 群馬 25p

<女子ジュニア>

500mタイムトライアル

- 1 岡本 二葉 東京 38.393
- 2 内村 舞織 鹿児島 38.543
- 3 高橋 智香 愛知 39.172

スプリント

- 1 野島理紗子 神奈川
- 2 吉原 朱美 岡山
- 3 岡田枝里子 京都

2km個人パノシュート

- 1 高橋 智香 愛知 2:38.740
- 2 小林 彩乃 群馬 2:40.909
- 3 内村 舞織 鹿児島 2:42.393

ポイントレース

- 1 岡本 二葉 東京 20p
- 2 野寺 楓 静岡 11p
- 3 根岸 恵美 岡山 11p

<男子U17>

1kmタイムトライアル

- 1 山田 諒 岐阜 1:05.996

3km個人パノシュート

- 1 山田 諒 岐阜 3:35.177

ポイントレース

- 1 奥村 十夢 奈良 10p

<女子U17>

500mタイムトライアル

- 1 細谷 夢菜 埼玉 37.504

2km個人パノシュート

- 1 細谷 夢菜 埼玉 2:34.031

ポイントレース

- 1 平尾 愛菜 岐阜 0p

<男子U15>

1kmTT

- 1 高梨万里王 静岡 1:14.020

3km個人パノシュート

- 1 高梨万里王 静岡 3:54.037

<女子U15>

500mTT

- 1 岩元 杏奈 宮崎 41.983

2km個人パノシュート

- 1 岩元 杏奈 宮崎 3:06.717



Japan Track Cup

JAPAN TRACK CUP I & II

JAPAN TRACK CUP I (Class 1)
(2015/7/10 静岡・伊豆パドローム)

Men Elite

Sprint

- | | | | |
|---|-------------|-----|-----|
| 1 | イム・チェビン | KOR | KOR |
| 2 | カン・ドンジン | KOR | UCT |
| 3 | シェン・ハーパーキンス | AUS | JAY |

Keirin

- | | | | |
|---|-------------------|-----|-----|
| 1 | 脇本 雄太 | JPN | JPC |
| 2 | デニス・ドミトリエフ | RUS | RVL |
| 3 | アワン・ムハマド・アジズル・ハスニ | MAS | YSD |

Points Race

- | | | | |
|---|------------|-----|------|
| 1 | 小林 泰正 | JPN | NSSU |
| 2 | レン・チュン・ウイン | HKG | HKG |
| 3 | キン・オクチョル | KOR | SCT |

Women Elite

Sprint

- | | | | |
|---|-----------|-----|-----|
| 1 | ムスタバ・ファテハ | MAS | YSD |
| 2 | ジョ・ソヨン | KOR | KOR |
| 3 | 加瀬加奈子 | JPN | JPN |

Keirin

- | | | | |
|---|-----------|-----|-----|
| 1 | ムスタバ・ファテハ | MAS | YSD |
| 2 | 梶田 舞 | JPN | JPN |
| 3 | リー・ウンジ | KOR | KOR |

Points Race

- | | | | |
|---|-----------|-----|------|
| 1 | ハン・ヤオ | HKG | HKG |
| 2 | ツン・シャオチャー | TPE | TCCT |
| 3 | 中村 妃智 | JPN | NSSU |

Men Junior

Keirin

- | | | | |
|---|---------------------|-----|-----|
| 1 | ラス・ムハマド・カイリ・ニザム | MAS | MAS |
| 2 | カン・シンフォン | TPE | TPE |
| 3 | ムハマド・ゾニス・ムハマド・ファディル | MAS | MAS |

Scratch Race

- | | | | |
|---|----------------------|-----|-----|
| 1 | 今村 駿介 | JPN | JPN |
| 2 | カン・シンフォン | TPE | TPE |
| 3 | ムハマド・ザリ・アiman・ワイルダウス | MAS | MAS |

Women Junior

Keirin

- | | | | |
|---|--------|-----|------|
| 1 | 大久保花梨 | JPN | JPN |
| 2 | 岡本 二菜 | JPN | JHPT |
| 3 | チャン・ヤオ | TPE | TPE |

Points Race

- | | | | |
|---|-------|-----|------|
| 1 | 梶原 悠未 | JPN | JPN |
| 2 | 橋本 優弥 | JPN | JHPT |
| 3 | 古山 稀絵 | JPN | JPN |

TRACK CUP I 男子エリート ポイントレース優勝の小林 (先頭)



TRACK CUP I 男子エリート ケイリン優勝の脇本 (先頭)



女子ジュニア ケイリン優勝の大久保 (先頭)



女子ジュニア ポイント優勝の梶原 (先頭)

ジャパントラックカップI・IIが7月10日～12日、静岡県伊豆ベロドロームで開催された。

世界の強豪選手が集まる中、日本人選手達も活躍した。

特に今回のジュニア世界選手権のポイントレースで金メダルを獲得した、今村駿介選手もトラックカップIのスクラッチ、トラックカップIIのポイントレースそれぞれで優勝した。

昨年からはまったこのジャパントラックカップも今回で3回目を数え、来年以降も続いて開催される予定だ。

JAPAN TRACK CUP II (Class 1) (2015/7/11-12 静岡・伊豆ベロドローム)

Men Elite

Sprint

1	デニス・トミリエフ	RUS	RVL
2	ム・チヒン	KOR	KOR
3	カン・ドンジン	KOR	UCT

Keirin

1	アワン・ムハド・アズル・ハスニ	MAS	YSD
2	渡邊 一成	JPN	JPN
3	シェン・パーキンス	AUS	JAY

Omnium

1	ハク・サンフン	KOR	KOR
2	橋本 英也	JPN	JPN
3	レン・チュン・ウイン	HKG	HKG

Women Elite

Sprint

1	ムスタハ・ファテハー	MAS	YSD
2	加瀬加奈子	JPN	JPN
3	石井 貴子	JPN	JPC

Keirin

1	梶田 舞	JPN	JPN
2	加瀬加奈子	JPN	JPN
3	リー・ウジン	KOR	KOR

Omnium

1	上野みなみ	JPN	JPN
2	ヨン・チンユー	HKG	HKSI
3	ファン・ティンイン	TPE	TPE

Men Junior

Keirin

1	ファン・ズーピン	TPE	TCCT
2	山根 将太	JPN	JPN
3	ムハド・ゾニス・ムハド・ファティル	MAS	MAS

Points Race

1	今村 駿介	JPN	JPN
2	ムハド・ザリアイマン・フィルダウス	MAS	MAS
3	リュウ・インガン	HKG	HKG

Women Junior

Keirin

1	ワン・ツンチュン	TPE	TPE
2	大久保花梨	JPN	JPN
3	高橋 智香	JPN	JHPT

Scratch

1	鈴木 奈央	JPN	JPN
2	橋本 優弥	JPN	JHPT
3	チャン・ヤオ	TPE	TPE

TRACK CUP II 女子エリート オムニアム優勝の上野(先頭)



TRACK CUP II 男子エリート オムニアム、スクラッチ1位の橋本(左)



II 女子エリート ケイリン優勝の梶田(手前から3人目)と2位の加瀬(一番手前)



平成 27 年度 全国高等学校総合体育大会自転車競技

8月7日(金)から10日(月)まで平成27年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会、秩父宮記念杯第66回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会が、トラック競技は大阪府岸和田競輪場(400m)、ロードは三重県鈴鹿サーキット(104.58km)において開催された。今年の大会も連日35℃を超える猛暑日となったが、初日から新記録が相次ぎ、稀に見るハイレベルな戦いが繰り広げられた。

1日目はいきなり5つの新記録が出た。まずチーム・スプリントでは、昨年覇者の和歌山北が昨年と同メンバーで出走し、1分17秒098のジュニア日本新、高校新、大会新を樹立した。和歌山北は決勝でも圧勝し、2連覇を果たした。

続いて、4kmチーム・パーシュート予選では、全体の中盤あたりで出走し



4km チームパーシュート優勝の祐誠高校

た岐阜第一が4分23秒576の大会新記録を出した。終盤まで首位を守ることが、最終組に出走したランキング1位

の祐誠も4分23秒313の大会新記録を出し、予選を1位通過した。この2校の対決となった決勝は、リードしていた岐阜第一を終盤で逆転した祐誠が再度大会新記録を出して優勝した。4kmチーム・パーシュートは入賞8位までが、4分35秒を切るハイレベルな戦いとなった。

また、3年目となる女子公開競技の500mTT決勝で、1位平井杏奈(祐誠3年)、2位細谷夢菜(浦和工2年)の2名が37秒台の高校新、大会新を出した。また、9名の選手が40秒を切るハイレベルな戦いとなった。女子スクラッチ・レース決勝では、残り2周で2名の選手がロングスプリントで抜け出したが、ラスト半周から追い込んできた古山稀絵(昭和一学園3年)が1位でフィニッシュした。

2日目は、3kmIPでは沢田桂太



チームスプリント優勝の和歌山北



公開競技の女子ケイリン

郎(東北・3年)が予選で3分29秒295の大会新記録で1位通過。決勝でも再び29秒台を出して優勝し、選抜大会2位の雪辱を果たした。9位までの選手が37秒台の超ハイレベルの争いだった。女子ポイントレースでは古山稀絵と橋本優弥(県岐阜商・3年)の2名の点の取り合いになったが、僅か1点差で古山が逃げ切り2種目優勝となった。

トラック最終日、1kmTTでは18人が1分10秒を切る中、山田諒(岐阜第一・2年)がただ一人6秒台となる1分6秒324の好記録で、選抜大会に続き優勝した。スプリントでは予選10秒911で1位通過の梶原大地(祐誠・3年)が、選抜大会決勝と同じ相手の田中克尚(岡山工・3年)と1-1で接戦となったが、3回戦は力でねじ伏せ、これも選抜に続いて連覇を果たした。男子ケイリンは、先行した三浦(古川工)をフィニッシュ手前で追い込んだ吉岡泰樹(祐誠・3年)が優勝した。また、女子ケイリンは、先行した細谷夢菜(浦和工・2年)が、他選手の猛追を寄せつけず優勝した。4km

速度競走は混戦の中、終盤単独で抜け出した今村駿介(祐誠・3年)がそのまま逃げ切って優勝した。スクラッチ・レースは序盤から2名の選手が逃げ続けたが、終盤に片野陸(鹿町工2年)が集団から抜け出して追いつき、2名を交わして優勝した。

最終日、鈴鹿サーキットで行われた個人ロードレース104.58km(5.81km×18周)には144人が出走した。序盤から有力選手が逃げを試みる、積極的な展開になった。5周目に渡邊歩(学法石川・3年)を含む6人の逃げが決まり、メイン集団と最大2分差にまで広がった。終盤、途中から加わった選手と4人でさらに逃げ続け、渡邊歩が最終ゴールスプリントを制して優勝した。2位には序盤から一緒に逃げ続けた大前翔(慶応・3年)が入った。

学校対抗総合は、トラック競技で50点と大量点を獲得した祐誠高校が、選抜大会に続きインターハイも制して春夏総合連覇を果たした。2位は39点で岐阜第一、3位は23点で学法石川が入った。

(河田 拓也)



個人ロード最終週のトップ4名(左から渡邊、中村、大前、石原)

【競技結果】

平成27年度 全国高等学校総合体育大会
自転車競技
(2015/8/6-10 大阪・岸和田 / 三重・鈴鹿)

スプリント

- 1 梶原 大地 福岡 祐誠高校
- 2 田中 克尚 岡山 岡山工業高校
- 3 森川 康輔 岐阜 岐阜第一高校

1kmタイムトライアル

- 1 山田 諒 岐阜 岐阜第一高 1:06.324
- 2 栗山 和樹 岐阜 岐南工業高 1:07.202
- 3 治田 知也 新潟 吉田高校 1:07.290

ケイリン

- 1 吉岡 泰樹 福岡 祐誠高校
- 2 三浦 大輝 宮城 古川工業高校
- 3 桑名 僚也 埼玉 栄北高校

3km個人ポイントレース

- 1 沢田桂太郎 宮城 東北高校 3:29.955
- 2 橋本 陸 福岡 祐誠高校 3:32.044
- 3 永田 吏玖 岐阜 岐南工高 3:31.718

4km速度競走

- 1 今村 駿介 福岡 祐誠高校 4:48.547
- 2 岡崎 陸登 愛媛 松山聖陵 4:49.770
- 3 鈴木 涼介 福島 白河実業 4:50.770

スクラッチ

- 1 片野 陸 長崎 鹿町工高 10:27.720
- 2 菅原 悠斗 岐阜 岐阜第一高校
- 3 浜田 大雅 大阪 藤井寺工科高校

ポイントレース

- 1 小玉 和寿 福島 学法石川高校 21p
- 2 曾我部厚誠 大阪 城東工科高校 20p
- 3 亀谷 昌慈 岐阜 岐阜第一高校 10p

チームスプリント

- 1 和歌山北 永橋・南・布居 1:17.813
- 2 倉吉西高 堀江・山根・伊藤 1:18.721
- 3 開新高校 谷口・平田・廣瀬 1:19.705

4kmチームポイントレース

- 1 祐誠高校 今村・貝原・佐竹・橋本 4:24.270
- 2 岐阜第一 大屋・亀谷・菅原・山田 4:26.279
- 3 榛生昇陽 安川・松山・奥村・西原 4:31.764

個人ロードレース

- 1 渡邊 歩 福島 学法石川 2:33:02.5
- 2 大前 翔 神奈川 慶応 2:33:02.8
- 3 中村 圭佑 東京 昭和第一 2:33:05.6
- 4 石原 悠希 栃木 真岡工 2:33:10.4
- 5 中川 拳 北海道 帯広三条 2:33:10.6
- 6 石井 駿平 群馬 前橋工 2:33:11.1

総合成績

- 1 福岡祐誠高校 50p
- 2 岐阜第一高校 39p
- 3 学校法人石川高校 23p



2015 UCI ジュニアネイションズカップ日本代表選手団

大会名 2015 UCI ジュニアネイションズカップ (ツール・ド・ラビビ)
開催場所 カナダ
大会期間 2015年7月21日～26日
派遣期間 2015年7月17日～28日
代表選手団
監督 柿木 孝之 (JCF強化コーチ・ジュニア強化育成部会員)
コーチ 狩野 良太 (JCFジュニア強化育成部会支援スタッフ)
メカニック 中村 仁 (JCF強化支援スタッフ)
選手 石上 優大 (神奈川・横浜高等学校)
大町 健斗 (広島・広島県立安芸府中高等学校)
沢田桂太郎 (宮城・東北高等学校)
渡邊 歩 (福島・学法石川高等学校)
當原 隼人 (沖縄・沖縄県立与勝高等学校)
小野康太郎 (東京・スマタ・エイダイ・パルイズミ・ラバネロ)

UCI U23 ネイションズカップ大会 夏季派遣日本代表選手団

開催場所 フランス、イタリア
派遣期間 2015年7月15日～8月22日予定
代表選手団
スタッフ 浅田 顕 (JCFロード競技部会員)
メカニック 高橋 優平 (JCF強化支援スタッフ)
マッサー 現地スタッフ
選手 小石 祐馬 (京都・CCT p/b CHAMPION SYSTEM)
面手 利輝 (神奈川・EQADS)
岡 篤志 (茨城・EQADS)
小橋 勇利 (愛媛・JP SPORTS TEST TEAM-MASSA)
松本 祐典 (京都・明治大学)
秋田 拓磨 (福岡・朝日大学)
徳田 優 (京都・鹿屋体育大学) ※8/4～
黒枝 咲哉 (大分・鹿屋体育大学) ※8/4～

●参加予定レース

7/26 Trofeo Almar (ITA) UCI U23 NATION'S CUP
7/29 GRAND PRIX D'AVAILLES LIMOUSINE (FRA) 国内レース
8/5 ROUTE D'OR DU POITOU A CIVRAY (FRA) 国内レース
8/9 GP PASTA ZARA(ITA) UCI 1.2U
8/12 CHATEAUX AUX MILANDES (FRA) 国内レース
8/19 GRAND PRIX DE CHERVES (FRA) 国内レース
※その他、トレーニングとしてローカル大会への参加予定。

第13回アジア室内自転車競技選手権大会 日本代表選手団

大会名 第13回アジア室内自転車競技選手権大会
開催場所 マカオ・チャイナ
大会期間 2015年8月23日
派遣期間 2015年8月21日～24日
代表選手団
選手
サイクリンク 村上 裕亮 (大阪・RSV 大阪)
岡嶋 紘次 (鳥取・RSV 大阪)
田中 勝也 (大阪・STARBICYCLE OSAKA)
養原 征也 (奈良・STARBICYCLE OSAKA)
サイクリンク 佐藤 凧沙 (京都・京都産業大学)
近藤 菜月 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)
上嶋 美音 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)
中川 凱公 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)

2015 UCI トライアル世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2015 UCI トライアル世界選手権大会
開催場所 アンドラ公国・ラ・マッサナ地区・Vallnord
大会期間 2015年8月31日～9月5日
派遣期間 2015年8月28日～9月8日
代表選手団
監督 岩佐 賢一
選手
ジュニア26 塩崎 太夢 (山梨・山梨県立甲府工業高等学校)
エリート20 寺井 一希 (埼玉・チームハリケーン)
山田 喜靖 (長野)
エリート26 飯塚 隆太 (東京・GOLDRUSH)

2015 China Track Cup 日本代表選手団

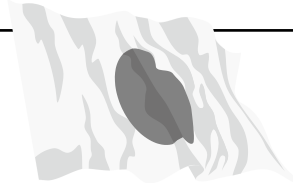
大会名 2015トラック中国遠征 (China Track Cup)
派遣場所 中華人民共和国・北京
大会期間 2015年7月26日～27日 (オムニアム)
派遣期間 2015年7月24日～28日
代表選手団
スタッフ 飯島 誠 (選手強化コーチ)
村田 正洋 (情報科学スタッフ)
選手 橋本 英也 (岐阜・鹿屋体育大学)

2015 UCI MTB 世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2015MTB 世界選手権大会
開催場所 アンドラ公国・ヴァルノード
大会期間 2015年8月31日～9月6日
派遣期間 2015年8月28日～9月8日
代表選手団
監督 鈴木 雷太 (JCFMTB強化コーチ)
コーチ 長尾 博文 (JCF強化支援スタッフ)
メカニック 山路 篤 (JCF強化支援スタッフ)
白井 三善 (JCF強化支援スタッフ)
マッサー 渡邊 城作 (JCF強化支援スタッフ)
選手
ダウンヒル
男子エリート 永田 隼也 (神奈川・AKI FACTORY)
男子ジュニア 泉野 龍雅 (愛知・豊橋桜丘高校 /KONA/ 自転車道)
クロスカンントリー
男子エリート 山本 幸平 (北海道・Trek Factory Racing)
武井 亨介 (茨城・FORZA・YONEX)
門田 基志 (愛媛・TEAM GIANT)
男子U23 沢田 時 (長野・BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM)
女子エリート 末政 実緒 (兵庫・SRAM/LITEC)
男子ジュニア 山田 将輝 (長野・Limited846/DIRTFREAK)
平林 安里 (長野・長野県白馬高等学校)
竹内 遼 (長野・WESTBERG/ProRide)
女子ジュニア 佐藤 寿美 (北海道・TEAM BG8)
※クロスカンントリーリレー：上記参加選手より4名にて構成

2015年 UCI ロード世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2015年 UCI ロード世界選手権大会
開催場所 アメリカ・リッチモンド
大会期間 2015年9月21日～27日
派遣期間 2015年9月18日～29日
代表選手団
監督 浅田 顕 (選手強化コーチ)
コーチ 柿木 孝之 (選手強化コーチ)
橋川 健 (ロード競技部会コーチ)
メカニック 西 勉 (選手強化支援スタッフ)
高橋 優平 (選手強化支援スタッフ)
中村 仁 (選手強化支援スタッフ)
マッサー 宮島 正典 (選手強化支援スタッフ)
穴田 悠吾 (選手強化支援スタッフ)
ドクター 内田 彰子 (つくば体力医学研究所)
選手
男子エリート 新城 幸也 (JPCA・チームヨーロッパカー)
別府 史之 (JPCA・トレックファクトリーレーシング)
内間 康平 (沖縄・ブリヂストンアンカーサイクリングチーム)
女子エリート 萩原麻由子 (群馬・Wiggle Honda pro team) ※TT
與那嶺恵理 (茨城・サクソバンクFX証券) ※TT
男子U23 小石 祐馬 (京都・CCT p/b CHAMPION SYSTEM) ※TT
岡 篤志 (茨城・EQADS) ※TT
小橋 勇利 (愛媛・JP SPORTS TEST TEAM MASSA ANDEX)
面手 利輝 (神奈川・EQADS)
徳田 優 (京都・鹿屋体育大学)
ジュニア 沢田桂太郎 (宮城・東北高校) ※TT
石上 優大 (神奈川・横浜高校) ※TT
小野康太郎 (東京・スマタ・エイダイ・パルイズミ・ラバネロ)
渡邊 歩 (福島・学法石川高校)
梶原 悠未 (埼玉・筑波大学附属坂戸高校) ※TT
「※ TT」は、個人ロードと個人 TT の両方に出場予定



日本新記録

Japan New Record

■スタンディングスタート

・3km	男子ジュニア	3'25"080	沢田 桂太郎 (宮城・東北高校)	2015/08/21	カザフスタン・アスタナ
・2km	女子ジュニア	2'27"054	鈴木 奈央 (静岡・日本競輪学校)	2015/08/21	カザフスタン・アスタナ
・4km 団体	男子ジュニア	4'11"573	日本 (沢田桂太郎・安川義道・徳田匠・今村駿介)	2015/08/20	カザフスタン・アスタナ
	女子ジュニア	4'47"812	日本 (鈴木奈央・梶原悠未・橋本優弥・古山稀絵)	2015/08/19	カザフスタン・アスタナ
		4'42"551	日本 (鈴木奈央・梶原悠未・橋本優弥・古山稀絵)	2015/08/20	カザフスタン・アスタナ
		4'39"374	日本 (鈴木奈央・梶原悠未・橋本優弥・古山稀絵)	2015/08/20	カザフスタン・アスタナ

■男子チーム・スプリント

・400m × 3	男子ジュニア	1'17"098	和歌山北高校 (永橋湧也、南潤、布居大地)	2015/08/07	大阪・岸和田競輪場
-----------	--------	----------	-----------------------	------------	-----------

■女子チーム・スプリント

・250m × 2	女子ジュニア	36"160	日本 (大久保花梨・鈴木奈央)	2015/08/19	カザフスタン・アスタナ
-----------	--------	--------	-----------------	------------	-------------

連盟の動き (7月初旬～9月上旬)

7月 6日	トラック短距離離合宿	於：伊豆ベロドローム (～7/12)
9日	トラック中距離離合宿	於：伊豆ベロドローム (～7/15)
16日	ロード夏季欧州合宿遠征	於：フランス、イタリア (～8/22)
17日	ツールドラピティビ日本代表選手団出発	於：カナダ 帰国→7/29
8日	2015BMX 世界選手権日本代表選手団出発 事前合宿含む	於：ベルギー 帰国→7/17
22日	アジア大学選手権日本代表選手団出発	於：大韓民国 帰国→7/26
24日	チャイナトラックカップ日本代表派遣選手団出発	於：中華人民共和国 帰国→7/28
8月 1日	トラック中距離離合宿	於：伊豆ベロドローム (～8/5)
4日	トラック短距離離合宿	於：伊豆ベロドローム (～8/7)
8日	ガールズサマーキャンプ	於：日本競輪学校・日本CSC (～8/14)
10日	ジュニア世界選直前合宿	於：伊豆ベロドローム (～8/14)
11日	2015MTB アジア選手権大会日本代表選手団出発	於：マレーシア 帰国→8/18
13日	プレオリンピック大会日本代表派遣選手団出発	於：ブラジル 帰国→8/19
15日	ジュニアトラック世界選日本代表選手団出発	於：カザフスタン 帰国→8/26
21日	アジア室内自転車競技選手権日本代表選手団出発	於：マカオチャイナ 帰国→8/24
21日	ユースサイクリングキャンプ	於：日本CSC (～8/23)
25日	平成27年度第2回総務委員会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室
26日	平成27年度第1回広報委員会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室
28日	2015トライアル世界選手権大会日本代表選手団出発	於：アンドラ公国 帰国→9/8
28日	2015MTB 世界選手権大会日本代表選手団出発	於：アンドラ公国 帰国→9/8
31日	ロード世界選手権事前欧州合宿出発	於：フランス、スペイン 帰国→9/18
9月 1日	トラック中距離離合宿	於：伊豆ベロドローム (～9/4)
3日	平成27年度第3回広報部会	於：東京・自転車総合ビル 601会議室

新しい翼で、世界の空へ。

member of oneworld



JAPAN AIRLINES

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

第56回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 (2015/7/4-5 静岡・伊豆パトロール)

男子スプリント

- 坂井 洋 日本大学
- 橋本 瑠偉 明治大学
- 後藤 悠 早稲田大学

男子1kmタイムトライアル

- 寺崎 浩平 法政大学 1:04.099
- 小原 佑太 朝日大学 1:04.823
- 霍 良生 法政大学 1:05.793

男子ケイリン

- 曾我 圭佑 明治大学
- 板倉 玄京 明治大学
- 奥村 諭志 鹿屋体育大学

男子4km個人パシュート

- 渡邊翔太郎 朝日大学 4:34.517
- 金田 聡士 朝日大学 4:42.263
- 森口 寛己 日本大学 4:39.211

男子スクラッチ

- 間瀬 勇毅 京都産業大学
- 黒枝 咲哉 鹿屋体育大学
- 原井 剣也 朝日大学

男子ポイントレース

- 小林 泰正 日本体育大学 77p
- 原井 博斗 中央大学 52p
- 浦田 真成 朝日大学 43p

男子タフタイムスプリント

- 鹿屋体育大学 山口・安本
- 朝日大学 中野・小原
- 明治大学 曾我・森本

男子マシソン

- 鹿屋体育大学 原田・黒枝 15p
- 京都産業大学 間瀬・安田 14p
- 日本大学 片桐・佐々木 8p

女子500mタイムトライアル

- 清水 知美 八戸学院大学 37.845
- 江藤里佳子 鹿屋体育大学 39.628
- 春原 美季 順天堂大学 40.010

女子スプリント

- 清水 知美 八戸学院大学
- 西島 叶子 鹿屋体育大学
- 春原 美季 順天堂大学

女子3km個人パシュート

- 江藤里佳子 鹿屋体育大学 3:55.909
- 中井 彩子 鹿屋体育大学 4:00.861
- 伊藤 真生 日本体育大学 4:06.788

女子ポイントレース

- 江藤里佳子 鹿屋体育大学 17p
- 伊藤 真生 日本体育大学 16p
- 中井 彩子 鹿屋体育大学 14p

第14回JBCF石川サイクルロードレース (2015/7/19 福島・石川)

P1 (115.8km)

- フジヨルオスカル Team UKYO 3:12:27
- 増田 成幸 宇都宮ブリックエン 3:12:43

- 土井 雪広 Team UKYO 3:12:45
- ガルシアリカルド KINAN Cycling 3:12:45
- ハンジヨムブラスパルマルマリックスハワ 3:12:45
- 鈴木 龍 那須フラーゼン 3:12:46

F (40.8km)

- 合田祐美子 BH ASTIFO 1:13:37
- 榎木 祥子 Neilpryde 1:13:50
- 牧瀬 翼 ASAHI MUUR 1:14:00
- ハーターン ジル ASAHI MUUR 1:14:03
- 西 加南子 LUMINARIA 1:18:07
- 針谷千紗子 Live GARDEN 1:18:38

第1回アジア大学ロードサイクリ選手権大会 (2015/7/24-26 大韓民国・昌寧郡)

ケイリン (24km)

- Min Kyeong Ho KOR 33:43.86
- 黒枝 咲哉 鹿屋体育大学 33:44.98
- Batmunkh Maralderene Mon Altius 33:44.98
- 荒井 佑太 日本学生 33:44.98
- 阿曾 圭佑 日本学生 33:44.98
- 浅井 創 日本学生 33:54.88
- 堀川 裕輝 日本学生 34:04.76
- 新井 優樹 日本学生 35:30.07
- 相本 祥政 日本学生 DNF

ケイリン団体

- 日本学生選抜 1:41:24.84
- 鹿屋体育大学 1:41:32.86
- 韓国ナショナルチーム 1:41:41.53

個人タイムトライアル (5.2km)

- Altanzul Altansukh Mon Altius 9:16.41
- Min Kyeong Ho KOR 9:17.50
- Batmunkh Maralderene Mon Altius 9:36.72
- 堀川 裕輝 日本学生 10:38.88
- 阿曾 圭佑 日本学生 10:39.04
- 新井 優樹 日本学生 10:40.01

個人タイムトライアル団体

- Mon Altius Univ 29:17.41
- 鹿屋体育大学 29:38.54
- 韓国ナショナルチーム 30:52.33

個人ロードレース (100km)

- Min Kyeong Ho KOR 2:40:21.10
- Erdenesuren Munkhtulga Mon Altius 2:40:30.75
- Altanzul Altansukh Mon Altius 2:40:32.35
- 阿曾 圭佑 日本学生 2:41:50.05
- 浅井 創 日本学生 2:41:50.05
- 堀川 裕輝 日本学生 2:47:08.05
- 荒井 佑太 日本学生 2:49:21.40
- 新井 優樹 日本学生 2:54:08.85

個人ロードレース団体

- Mon Altius Univ 8:02:53.15
- 日本学生選抜 8:10:48.15
- 鹿屋体育大学 8:14:16.80

白馬マウンテンバイク大会 CJ-1 XCO (2015/8/1-2 長野・白馬スノーパーク)

男子エリート (31.2km)

- 山本 幸平 北海道 TREK 1:16:51.27
- 沢田 時 滋賀 BS Anchor 1:19:21.05
- 斎藤 亮 長野 BS Anchor 1:19:29.85

女子エリート (20.8km)

- 小林可奈子 長野 MTB クラブ 1:07:39.19
- 中島 峻歩 山梨 maillot 1:10:07.82

- 橋口 陽子 東京 ワカザキ 1:11:41.92

男子ジュニア (26.0km)

- 平林 安里 長野 Westberg 1:09:09.22
- 山田 将輝 長野 Limited8461 1:10:06.85
- 竹内 遼 長野 Westberg 1:11:40.26

男子マスターズ (20.8km)

- 大橋 優 奈良 Poppo 1:00:30.79
- 塩見 学 東京 B・B・Q 1:00:41.75
- 多田 尚史 奈良 スポーツキット 1:00:42.15

女子マスターズ/ジュニア (15.6km)

- 真川 好美 愛知 Nipopo 56:39.66
- 石田 恵 京都 実行 846 1:07:42.49

* = 女子ジュニア

男子U-17 (10.4km)

- 北林 力 長野 Westberg 27:14.41
- 山口 創平 滋賀 Westberg 28:20.31
- 石川 絃 愛知 サッサース 29:13.81

女子U-17 (10.4km)

- 山田 夕貴 北海道 BG8 A 33:27.38
- 小林あかり 長野 MTB クラブ 33:38.89
- 光永 翔香 神奈川 バイクルムシ 37:01.85

2015年全国U-17選抜マウンテンバイク大会 (2015/8/8-9 長野・白馬スノーパーク)

男子U-17 U17 (14.0km)

- 北林 力 長野 Westberg 45:15.41
- 梶 鉄輝 兵庫 Sonic-R. 46:47.40
- 伊藤 旭 熊本 Gamadas 47:10.43

女子U-17 U17 (6.4km)

- 小林あかり 長野 MTB クラブ 20:42.14
- 川口うらら 兵庫 菖蒲谷キッズ 21:28.95
- 渡部 春雅 神奈川 はるひ野中 21:29.40

男子U-17 U15 (9.6km)

- 山口 創平 滋賀 Westberg 27:08.45
- 上野悠佑太 東京 バイクルムシ 28:39.50
- 有村 登紀 鹿児島 国分中学 28:44.10

Aquece Rio

International Road Cycling Challenge (America Tour 1.2)

(2015/8/16 ブラジル・リオデジャネイロ)

- Alexis VUILLERMOZ FRA 4:20:27
- Serge PAUWELS BEL +0:22
- Romain BARDET FRA +0:22
- 内間 康平 JPN +17:10
- 増田 成幸 JPN DNF
- 中根 英登 JPN DNF
- 土井 雪広 JPN DNF

第50回全国都道府県対抗自転車競技大会 (2015/8/21-23 岩手・紫波)

男子スプリント

- 山田 諒 岐阜 岐阜第一高校
- 橋本 凌甫 和歌山 和歌山県教育庁
- 柴崎 俊祐 愛媛 愛媛県

成年男子1kmタイムトライアル

- 皿屋 豊 三重 伊勢市役所 1:08.568
- 武智 気吹 愛媛 都留文科大 1:09.700
- 山崎 潤 神奈川 横浜市役所 1:10.641

少年男子1kmタイムトライアル

- 南 潤 和歌山 和歌山北高 1:06.590
- 栗山 和樹 岐阜 岐南工業高 1:07.861

- 3 竹井 慧 香川 高松工芸高 1:08.709
- 成年男子ケリソ**
- 1 佐野 伸弥 岐阜 NOSAI 岐阜中央
2 小林 清仁 東京 日本航空電子
3 碓 優太 福井 嶺北特別支援学校教
- 少年男子ケリソ**
- 1 真鍋 智寛 愛媛 松山聖陵高校
2 吉岡 衛 奈良 奈良北高校
3 吉岡 泰樹 福岡 祐誠高校
- 少年男子ポイントレース (24km)**
- 1 渡辺 慶太 埼玉 浦和工業高校 22p
2 金田 優作 鳥取 倉吉総合産業高 12p
3 天春 雄也 三重 暁高校 10p
- 成年男子ポイントレース (30km)**
- 1 倉林 巧和 群馬 日本体育大学院 56p
2 近谷 涼 富山 三和シャッター 23p
3 酒井 幸一 新潟 日本大学 -12p
- 男子チームスプリント**
- 1 和歌山 橋本・南・布井 1:05.633
2 岩手 三浦・澤口・安倍 -
3 愛媛 柴崎・武智・真鍋 1:09.010
- 男子チームパーシュート**
- 1 群馬 石井・篠田・小池・倉林 4:36.829
2 大分 廣瀬・長松・中山・甲斐 4:40.638
3 香川 森原・河野・竹井・梅本 4:42.108
- 女子 500m タイムトライアル**
- 1 前田佳代乃 京都 36.630
2 細谷 夢菜 埼玉 浦和工業高 38.033
3 平井 杏奈 福岡 祐誠高校 38.263
- 女子ポイントレース (16km)**
- 1 上野みなみ 青森 鹿屋体育大学院 44p
2 細谷 夢菜 埼玉 浦和工業高校 39p
3 高橋 智香 愛知 桜丘高校 35p
- 女子チームスプリント**
- 1 鹿児島 内村・松井 51.633
2 埼玉 細谷・藤田 -
3 青森 上野・清水 50.978
- 男子ロードレース (104.0km)**
- 1 竹井 慧 香川 高松工芸高 3:17:23
2 曾我部厚誠 大阪 城東工科高 3:17:22
3 小川 智也 熊本 千原台高校 3:17:23

- 4 近谷 涼 富山 三和シャッター 3:17:23
5 倉林 巧和 群馬 日体大学院 3:17:23
6 皿屋 豊 三重 伊勢市役所 3:17:24
- 女子ロードレース (63.8km)**
- 1 上野みなみ 青森 鹿屋体育大 1:54:33
2 中原 恭恵 広島 1:54:34
3 合田祐美子 岡山 BH Astifo 1:54:35
4 森本 朱美 鳥取 湖陵高教 1:56:27
5 星川恵利奈 香川 あさひ 1:56:29
6 細谷 夢菜 埼玉 浦和工高 1:57:42
- 男子総合**
- 1 和歌山 46p
2 愛媛 46p
3 岐阜 38p
- 女子総合**
- 1 埼玉 31p
2 青森 28p
3 鹿児島 21p
- 第13回アジア室内自転車競技選手権大会 (2015/8/23 マカオマカオ・Tap Seac Multisport Pavilion)**
- サイクルカッター**
- 1 日本 A 村上裕亮・岡嶋紘次 12p
2 日本 B 荻原征也・田中勝也 7p
3 香港 A KWAN Chun Hin・HO Wing Tai 7p
- サイクルフィギュア**
- シングル男子ポイント**
- 1 MAK Painfield HKG 153.42
2 WONG Chin To HKG 149.05
3 LEI Fai MAC 108.92
4 中川 凱公 JPN 87.85
- シングル女子ポイント**
- 1 LUK Wing Yi HGK 91.64
2 近藤 菜月 JPN 86.83
3 WONG Hiu Shuen HKG 86.64
4 佐藤 風沙 JPN 69.33
- シングル女子 U-15**
- 1 SO Cheuk Lam HKG 74.32
2 LAM Cheuk Yu HKG 45.71
3 上嶋 美音 JPN 39.32

第32回シクリスムエコー国際ロードレース (2015/8/23 三重・鈴鹿)

- 個人ロードレース (58.1km)**
- 1 畑中 勇介 東京 UKYO 1:18:36.77
2 福田 真平 愛知 愛三工業 1:18:36.81
3 木村 圭佑 シマルーシグ 1:18:36.96
4 大久保 陣 栃木 ブリッヂエン 1:18:37.00
5 RICARDO Garcia KINAN 1:18:37.10
6 Baillifard Valentin BMC 1:18:37.40

MTB 東日本震災復興記念 栗石 STAGE CJ-2 XCO (2015/8/29-30 岩手・栗石峠)

- 男子エリート (16.5km)**
- 1 齊藤 亮 長野 Anchor 58:30.01
2 佐藤 誠示 埼玉 USM 1:00:40.72
3 品川 真寛 神奈川 YOUCAN 1:01:14.81
- 女子エリート (9.9km)**
- 1 鈴木美香子 東京 KIRIN 55:15.11
- 女子ジュニア (9.9km)**
- 1 石田 恵 京都 ミテッド 846 59:36.85
- 男子マスタース (13.2km)**
- 1 多田 尚史 東京 スポーツケット 54:23.82
2 叶 英樹 福島 Spirit XARU 56:44.12
3 小口 敦 神奈川 Heart View 1:05:31.11
- 男子1-2 (9.9km)**
- 1 積田 連 福島 PAX 40:50.66

NEWS

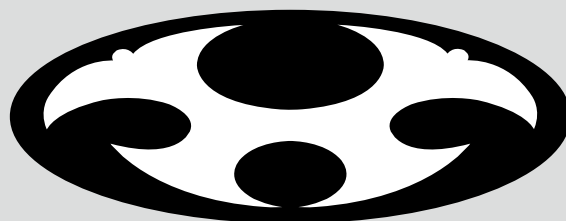
事務局住所等変更

●茨城県自転車競技連盟

〒302-0127
茨城県守谷市松ヶ丘3-9-5
電話：0297-45-4277
ファックス：0297-45-4388
電子メール：icf@otr.jp

●(一社)埼玉県自転車競技連盟

ファックス訂正
050-3737-1117



Kabuto

Safety Meets Style



Twitter
@OGK_KABUTO



Facebook
www.facebook.com/ogkkabuto

第 32 回全日本 BMX 選手権大会

男子は長迫が勝利!



男子エリート優勝の長迫 (993)



【競技結果】

第 32 回全日本 BMX 選手権大会
(2015/7/4-5 茨城・国営ひたち海浜公園)

男子エリート

- 1 長迫 吉拓 岡山 トクスイインターナショナル HARO
- 2 吉村樹希 大阪 Credit racing
- 3 松下 翼 神奈川 早稲田大学大学院



女子エリート

- 1 瀬古 遥加 三重 IRC TIRE
- 2 飯端 美樹 大阪 SE Racing



男子ジュニア優勝の山口



女子エリート優勝の瀬古



男子ジュニア

- 1 山口 大地 新潟 Yess ファクトリーチーム
- 2 橋本 蓮 茨城
- 3 石井 友也 神奈川



サイクリストと共に開発した製品でサイクリストの健康と勝利に貢献します



Meitan SuperAthlete

株式会社 梅丹本舗

梅丹本舗は、JCF日本自転車競技連盟のオフィシャルスポンサーです。日本ナショナルチームを応援しています。

2015 アジア・マウンテンバイク選手権大会

山本幸平 クロスカントリー 7連覇!



2015年アジア選手権はマレーシア マラッカシティでの開催。

大会初日はチームリレーからレースがスタート。エリート男女、ジュニア男女の合計4人が一周づつ走るこの競技は、走る順番が重要なカギとなる。日本は平林安理(ジュニア男子)、佐藤寿美(ジュニア女子)、門田基志(エリート男子)、末政実緒(エリート女子)の順でスタート。

スタート後土手を横切る区間ですぐにシングルトラックとなるため、スタートに強い平林が飛び出す形で先頭で走りだしたが、昨夜の降ったスコールの影響で、スタート直後の2コーナーを先頭で落車し、5位まで順位を落とす。この影響でタイヤもパンクしてしまっていたが、粘りで走りきり4位で佐藤にバトンを渡す。初参加の佐藤もしっかりと走り、一人抜いて3位で門田にタッチ。門田も順調に走り2位でアンカーの末政にバトンタッチ。スタートから飛ばし1km地点で先頭に追い付

きタイチームとランデブーを開始。一緒に走るタイも強く、先頭を競う形で走り、勝負はゴールスプリントに持ち込まれた。

ゴールは末政も粘り、ハンドルを投げる接戦だったが、ゴールスプリントで惜しくも敗れ2位となった。

2日目、DHI競技が開催された。日本からは清水一輝(エリート男子)が出走。小高い丘の森の中の特設コース960mを駆け下りるコース。昨日のシーディングランでトップのPOPO(INA)と0.069秒差の2位につけており、優勝を目指してスタート。順調に力を出し切り走り切ったが、CHANG Sheng Shan(TPE)と0.292秒差の2位に終わった。

大会最終日のクロスカントリー男子エリートでは山本幸平が優勝し、MTBアジア選手権7連覇を達成した。これにより、リオ五輪の男子クロスカントリーの参加枠を1つ確保した。

(MTB 監督 鈴木雷太)

【競技結果】

2015 アジア・マウンテンバイク選手権大会 (2015/8/12-16 マレーシア)

チームリレー

1 Thailand	50:47
2 日本 平林・佐藤・門田・末政	50:47
3 Chinese Taipei	54:18

ダウンヒル男子エリート(0.960km)

1 CHIANG Sheng Shan TPE	1:37.48
2 清水 一輝 JPN	1:37.77
3 ARIO SEJATI Popo INA	1:39.70

クロスカントリー男子エリート(36km)

1 山本 幸平 北海道 Trek	1:28:37.30
2 WANG Zhen CHN	1:31:36.21
3 CHAN Chun Hing HKG	1:31:54.72
5 武井 亨介 茨城 FORZA	1:32:22.87
7 平野 星矢 長野 Anchor	1:32:31.78
8 斉藤 亮 長野 Anchor	1:33:57.08
11 門田 基志 愛媛 GIANT	1:35:51.06

クロスカントリー女子エリート(31.5km)

1 REN Cheng Yuan CHN	1:27:43.97
2 YANG Ling CHN	1:34:06.66
3 WENJING Ren CHN	1:34:41.80
4 與那嶺恵理 茨城 サクソバンク	1:36:23.90
6 末政 実緒 兵庫 SRAM	-1Lap

男子ジュニア(22.5km)

1 竹内 遼 長野 Westberg	56:28.52
2 平林 安里 長野 白馬高校	56:42.10
3 山田 将輝 長野 Limited846	1:00:05.36

クロスカントリー女子ジュニア(18km)

1 VARINTHORN Phetppahan THA	1:03:38.43
2 YA YU Tsai TPE	1:04:39.74
3 佐藤 寿美 北海道 BG8	1:05:04.38

2015年アジア MTB 選手権大会 日本代表選手団

大会名 第21回アジア マウンテンバイク選手権大会
第7回ジュニア アジア マウンテンバイク選手権大会

開催場所 マレーシア・マラッカ

大会期間 2015年8月14日～16日

派遣期間 2015年8月11日～18日

代表選手団

監督 鈴木 雷太 (JCF MTB 強化コーチ)

メカニック 山路 篤 (JCF 強化支援スタッフ)

小林 輝紀 (JCF 強化支援スタッフ)

マッサー 軽部 修子 (JCF 強化支援スタッフ)

川原かおり (JCF 強化支援スタッフ)

選手

ダウンヒル

男子エリート 清水 一輝 (愛知・Patrol Mountain FJC Downhill Team)

クロスカントリー

男子エリート 山本 幸平 (北海道・Trek Factory Racing)

武井 亨介 (茨城・FORZA・YONEX)

斉藤 亮 (長野・BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM)

平野 星矢 (長野・BRIDGESTONE ANCHOR CYCLING TEAM)

門田 基志 (愛媛・TEAM GIANT)

女子エリート 末政 実緒 (兵庫・SRAM/LITEC)

與那嶺恵理 (茨城・サクソバンク FX 証券)

男子ジュニア 山田 将輝 (長野・Limited846/DIRTFREAK)

平林 安里 (長野・長野県白馬高等学校)

竹内 遼 (長野・WESTBERG/ProRide)

女子ジュニア 佐藤 寿美 (北海道・TEAM BG8)



XCO 男子エリート優勝の山本

第 28 回全日本マウンテンバイク選手権大会



XCO-ME のスタート

XCO-ME 優勝の山本



XCO-MM 優勝の竹谷



XCO-MU 優勝の沢田



XCO-MJ 優勝の平林



XCO-WE 優勝の末政





DHI-ME 優勝の永田



DHI-WE 優勝の末政



XCO のチャンピオン達



DHI のチャンピオン達



7月18・19日、長野県の富士見パノラマリゾートで、第28回全日本マウンテンバイク選手権大会が開催された。

女子の末政実緒が見事ダウンヒルとクロスカントリーの2冠を獲得。

また男子クロスカントリーでは、山本幸平が2年ぶりにチャンピオンジャージを奪還した。

【競技結果】

**第28回全日本マウンテンバイク選手権大会
(2015/7/18-19 長野・富士見リゾート)**

DHI-ME

- 1 永田 隼也 神奈川 AkiFact. 4:42.67
- 2 井本はじめ 兵庫 Sram/Litec 4:51.77
- 3 井手川直樹 広島 AkiFact 4:52.01

DHI-WE

- 1 末政 実緒 兵庫 Sram/Litec 8:14.12
- 2 中川 弘佳 大阪 lovespo 9:20.53
- 3 九島あかね 神奈川 玄武 Turner 9:57.95

DHI-MJ

- 1 泉野 龍雅 愛知 豊橋桜丘高 5:41.97
- 2 九島 凜 神奈川 玄武 7:10.25
- 3 田丸 裕 広島 Sram/Litec 7:43.70

DHI-MM

- 1 黒川陽二郎 石川 FRS 6:25.88
- 2 斉藤 邦一 東京 重力技研 6:44.26
- 3 栗野宏一郎 岐阜 KYBracing 6:51.19

DHI-MY

- 1 井岡 佑介 愛知 HottSpin 5:50.27
- 2 幸田 玲音 東京 teamAST 6:14.24
- 3 宇津孝太郎 神奈川 カクリコック 6:17.85

XCO-ME

- 1 山本 幸平 北海道 TREK 1:32:40.82
- 2 武井 亨介 茨城 FORZA 1:35:55.49
- 3 斉藤 亮 長野 Bridgestone1:36:00.09

XCO-WE (17.64km)

- 1 末政 実緒 兵庫 Sram/Litec1:17:45.57
- 2 小林可奈子 長野 MTB クラブ 1:18:23.37
- 3 與那嶺恵里 茨城 サクパノク 1:20:04.97

XCO-MU (17.64km)

- 1 沢田 時 滋賀 Bridgestone1:02:46.11
- 2 中原 義貴 大阪 BH R. 1:03:50.35
- 3 前田 公平 東京 Bioracer1:04:32.60

XCO-MJ

- 1 平林 安里 長野 Westberg 1:04:57.84
- 2 竹内 遼 長野 Westberg 1:06:55.76
- 3 山田 将輝 長野 Limited8461:09:26.58

XCO-WJ (13.23km)

- 1 佐藤 寿美 北海道 BG8 A 1:03:59.88

XCO-MM

- 1 竹谷 賢二 埼玉 Specialized1:12:35.70
- 2 植川 英治 静岡 キャン CC 1:15:52.61
- 3 小田島貴弘 神奈川 maillot SY 1:16:41.85

XCO-WM (13.23km)

- 1 真川 好美 愛知 Nipopo 1:10:26.11

XCO-MY (8.82km)

- 1 北林 力 長野 Westberg 35:03.09
- 2 山口 創平 滋賀 Westberg 37:40.91
- 3 村上功太郎 愛媛 こけむしろ 37:59.70

XCO-WY (8.82km)

- 1 山田 夕貴 北海道 BG8 A 44:47.50
- 2 小林あかり 長野 MTB クラブ 45:50.77
- 3 中島 悠里 山梨 maillot SY 59:33.02



この大会は競輪の補助金を受けて実施されました

第32回全日本BMX選手権大会

KEIRIN 00
この大会は競輪の補助金を受けて実施されました



男子エリート、先頭が優勝の長迫

< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.214 2015年8月・9月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/坂井田 米治

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>



この資料および00の表示がある事業は、JKAから競輪収益の一部である公益事業資金の補助を受けたものです。
© (公財)日本自転車競技連盟2015本紙掲載の写真、イラスト、ロゴマーク、ロゴタイプおよび記事の無断転載を禁じます。
※本誌「シクリスムエコー」定期購読をご希望の方は編集事務局までお問合せください。

＝シクリスムエコー読者のみなさまへ＝ 本誌への寄稿またはご意見、ご感想等を編集事務局までお寄せください。